

事業所名

てらす（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--|----|-----|---------|--|---------|-----------------|
| 法人（事業所）理念 | “花よりも花を咲かせる土となれ”という理念を掲げています。これは、私たちが良質な“土”となって、子どもたちの成長を豊かに育む支えとなること、お子さんとそのご家族が共に安心して過ごせるような場所になり、素敵なお顔や花が咲きますようにという願いがこめられています。 | | | | | | | |
| 支援方針 | てらすは、重症心身障害のあるお子さんを主な対象としています。「活動・参加・経験」「無駄を楽しむ」をコンセプトに、一人ひとりの主体性を大切に支援を行います。それぞれのお子さんが自ら関わり、感じ、動くことができる活動を提案し、活動を通して周囲との関わりや社会とのつながり（参加）へと広がっていくことを目指します。また、「一見すると意味がないように思える時間や行動の中にも、その子の興味や関心の芽があるかもしれない」という視点を大切にし、丁寧に関わりながら活動を展開していきます。 | | | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 45分 | から | 18時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | あり（三木市内の迎えのみ実施） |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 寝ることや食えること、排泄などの基本的な生活リズムを身に付けることも考えながら支援を行います。具体的には、身体を使った活動など（体操やサーキット遊び、滑り台やブランコなど）によって日中に身体を動かす時間を確保すること、お子さんに合わせて自分で食えることや安全に食えることを支援すること、お子さんに合わせて時間を決めてトイレに座ることなどに取り組んでいきます。健康面に関しては、看護師と連携しながら、体調の確認や医療的ケアの実施を行います。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 乗り物あそびやバランスボール、ブランコなどの身体を使った活動を通して、身体を支える力の向上や身体の使い方の向上、身体を動かす経験の向上に繋がっていきます。姿勢を支えることや自分で動きをコントロールすることが難しい場合には、道具の工夫など様々な環境設定によってこれらができるよう支援を行います。視覚や聴覚、触覚、バランスを感じる感覚、身体を動かす感覚などお子さんの感覚特性に合わせた支援方法や環境を調整していきます。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | お子さんの感覚の感じ方（見え方、聞こえ方、触る感覚、バランス感覚、身体を動かす感覚など）に合わせて、それぞれのお子さんに理解しやすい方法で説明や提示をしていきます。あそびの中で、物の機能（使い方など）や属性（大きさ、重さ、硬さなど）、形、色、音が変化する様子などを感じられるように支援していきます。それぞれのお子さんに合わせて、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生じる行動障害の予防、及び不適切な行動への対応の支援を行います。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | それぞれのお子さんに合わせた手段で、相手の言っていることを理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、他者の思いを受け取り、自分の思いを表出するための支援を行います。あそびの中で、他者とやりとりをする機会を作り、コミュニケーションをとる力の向上のための支援を行います。スイッチやタブレットなどのICT機器も活用しながらコミュニケーション手段の拡大にも取り組んでいきます。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | あそびを通して、人との関係を意識し、安心して活動に参加できるように支援を行います。人と関わることに對するポジティブな経験を通して、他者との関わりへの安心感を持てるように関わっていきます。自分の思いを伝える経験や活動に成功できる経験を通して他者との繋がりを作っていけるように支援していきます。 | | | | | | |
| 家族支援 | 送迎時や支援時にお子さんの状況や取り組みについてご家族と共有しながら、家庭での取り組みや関わり方などについて検討、相談していきます。また、それぞれのご家族の状況や目標にあった方法の提案に努めます。 | | | | 移行支援 | お子さんの移行先への情報提供や移行先で想定されることをご家族と相談することなどに取り組めます。 | | |
| 地域支援・地域連携 | 園や学校との情報共有や支援方法の統一等に取り組んでいきます。 | | | | 職員の質の向上 | 月に1回の職員研修の実施、外部研修の参加の援助、お子さんの支援について検討するための会議の実施、など支援の質の向上のための取り組みを実施します。 | | |
| 主な行事等 | 夏季期間：水遊び、季節の制作 | | | | | | | |

事業所名

てらす（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

| | | | | | | | | |
|-----------|---|--|----|---------|--|----|---------|-----------------|
| 法人（事業所）理念 | “花よりも花を咲かせる土となれ”という理念を掲げています。これは、私たちが良質な“土”となって、子どもたちの成長を豊かに育む支えとなること、お子さんとそのご家族が共に安心して過ごせるような場所になり、素敵に笑顔や花が咲きますようにという願いがこめられています。 | | | | | | | |
| 支援方針 | てらすは、重症心身障害のあるお子さんを主な対象としています。「活動・参加・経験」「無駄を楽しむ」をコンセプトに、一人ひとりの主体性を大切にした支援を行います。それぞれのお子さんが自ら関わり、感じ、動くことができる活動を提案し、活動を通して周囲との関わりや社会とのつながり（参加）へと広がっていくことを目指します。また、「一見すると意味がないように思える時間や行動の中にも、その子の興味や関心の芽があるかもしれない」という視点を大切にし、丁寧に関わりながら活動を展開していきます。 | | | | | | | |
| 営業時間 | 9時 | 45分 | から | 18時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | あり（三木市内の迎えのみ実施） |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 生活リズムについても考慮しながら活動や過ごし方を考えていきます。学校終了後の本人の様子も考慮しながら、活動と休息のバランスを取りながら過ごしていきます。健康面に関しては、看護師と連携しながら、体調の確認や医療的ケアの実施を行います。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 乗り物やバランスボール、ブランコなどの身体を使った活動を通して、身体を支える力の向上や身体の使い方の向上、身体を動かす経験の向上に繋げていきます。姿勢を支えることや自分で動きをコントロールすることが難しい場合には、道具の工夫など様々な環境設定によってこれらができるよう支援を行います。視覚や聴覚、触覚、バランスを感じる感覚、身体を動かす感覚などお子さんの感覚特性に合わせた支援方法や環境を調整していきます。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | お子さんの感覚の感じ方（見え方、聞こえ方、触る感覚、バランス感覚、身体を動かす感覚など）に合わせて、それぞれのお子さんに理解しやすい方法で説明や提示をしていきます。あそびの中で、物の機能（使い方など）や属性（大きさ、重さ、硬さなど）、形、色、音が変化する様子などを感じられるように支援していきます。それぞれのお子さんに合わせて、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生じる行動障害の予防、及び不適切な行動への対応の支援を行います。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | それぞれのお子さんに合わせた手段で、相手の言っていることを理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、他者の思いを受け取り、自分の思いを表出するための支援を行います。あそびの中で、他者とやりとりをする機会を作り、コミュニケーションをとる力の向上のための支援を行います。スイッチやタブレットなどのICT機器も活用しながらコミュニケーション手段の拡大にも取り組んでいきます。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | あそびを通して、人との関係を意識し、安心して活動に参加できるように支援を行います。人と関わることに對するポジティブな経験を通して、他者との関わりへの安心感を持てるように関わっていきます。自分の思いを伝える経験や活動に成功できる経験を通して他者との繋がりを作っていくように支援していきます。 | | | | | | |
| 家族支援 | 送迎時や支援時にお子さんの状況や取り組みについてご家族と共有しながら、家庭での取り組みや関わり方などについて検討、相談していきます。また、それぞれのご家族の状況や目標にあった方法の提案に努めます。 | | | 移行支援 | お子さんの移行先への情報提供や移行先で想定されることをご家族と相談することなどに取り組めます。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | 学校や他事業所との情報共有や支援方法の統一等に取り組んでいきます。 | | | 職員の質の向上 | 月に1回の職員研修の実施、外部研修の参加の援助、お子さんの支援について検討するための会議の実施、など支援の質の向上のための取り組みを実施します。 | | | |
| 主な行事等 | 夏季期間：水遊び、季節の制作 | | | | | | | |